

医会ニュース

発行人 小川秀彌

編集 細部高英

発行所 〒176-0012 練馬区豊玉北6丁目1-7 メイゾン豊玉2F(森口クリニック内)
東京泌尿器科医会 TEL 03-3991-1750 FAX 03-5999-9500

主な記事

東京泌尿器科医会役員挨拶 1 / 図書紹介 5 / Office Urology 6
東京都各科医会協議会報告 7 / お知らせ / 編集後記 8

謹賀新年



第32回 東京泌尿器科医会学術集会・総会のお知らせ

日時：平成23年2月19日(土) 午後5時30分～7時30分

場所：経団連会館(大手町) 千代田区大手町1-3-2 TEL 03-6741-0222

1. 講演「PDF阻害薬による心血管系イベントの予防と偽ED治療薬について」
東邦大学泌尿器科学講座 リプロダクションセンター教授 永尾光一先生
2. 総会
3. 特別講演「BCG膀胱注入療法の基礎と臨床」
昭和大学医学部泌尿器科講座 教授 小川良雄先生
4. 「保険診療のQ & A」
東京臨海病院 副院長 斎藤忠則先生

新年に幸有れ終助

東京泌尿器科医会会長代行

小川 秀 彌

冒頭に妙な字を並べましたが、これは私が高2の時に詠みました和歌のようなもの

ニイトシに、サチ有れカシと、^{たそがれ}黄昏の、
^{ひさし}庇に立てば、来し日々は思ほゆ

の最初の部分です。

今年は、今年こそ我々東京泌尿器科医会にとりましてより良い年、実り多い年であると同時に会員諸先生におかれましてもご健勝で、ご多幸な年であることを信じてお慶び申し上げます。

私事でまことに申し訳ございませんが、今年3月31日をもちまして役員を辞任させていただきます。この事は2年前に故長久保一朗会長と同時に辞任するといった許可を得ておりました。

振り返って考えますと、16年前に現在名誉会員の岡本重禮先生から「町田豊平名誉教授を中心に東京泌尿器科医会を設立する事になったが、君も役員として参加しないか？」とお言葉をかけていただき、「ハイ。宜しくお願い致します。」と即答しましたのが始まりで今日に至っております。その間、初代会長町田豊平先生の卓越した指導力に感心したり感激したり、更に多くの先輩、同僚、後輩からも学ぶことも多々あり、充実した日々を過ごさせていただきました。一方、これだけは許せないとか、この意見には大反対、この仕事はイヤだといった事は全くなく、本当に楽しく過ごさせていただきました。また、各科医会協議会にも参加し、多くの事を学ばせていただき、誠に充実した16年間でした。改めまして会員諸先生並びに役員諸先生に厚く御礼申し上げます。

さて、今年からの医療はどうなるのか？ということになりますとそれ以前の問題として財源の根幹となる税収の減少、今年度は上方修正されるようですが多くは望めないでしょう…。

民主党のマニフェストを並べてみると財源を確保するものがいくつかありますが、これまで

に実行されたものは天降りをなくすこと、これは速効性に乏しく、不十分でしたが、不十分でも結構で、要は継続することにより徐々に完成させることです。

次に、仕分けですが、これはそれなりに評価はされてはいますが、当初の計算よりかなり低い実績でしたが、当然のことで2回で完成するものなどは極めて稀なことで、継続は金なりと考えます。

もっと大きなものを忘れていませんか？と意欲になるのは公務員の給与カットです。マスコミや評論家とか専門家と称する連中どころか、当の民主党員からもわけありとは思いますが、聞こえてこないのは一体どうなっているの？といたくなります。具体的には、非国家公務員と国家公務員の全体と年代別年収を公開し、リーズナブルな減額(%)を設定し、5年前後で見直しをする。この見直しというのは昇給という盲点を牽制するために必要であると考えます。

この給与カットが実現出来れば、これは地方公務員にも広がって行く可能性も十分あり得ることが予測され、公務員以外の国民の多くにも支持されると考えます。

さらに、国会議員数の削減、これは経済効果は少ないと思われませんが、政治に対する国民の信頼回復の一助となるはずです。

米国の人口は日本の約2倍、議員数は約半数ですので、上記の削減も回を重ねて1/4位が最終目標といったところと考えます。

これらの事項を自民党なら実行出来るかといったらまず無理でしょう。

これらの事項を僅かながらでも出来る可能性のある人物は現在最も悪評の高い某議員ではないかと考えますが、周囲が許すはずがないのでまず無理でしょう。

結論としては今年の医療費等の削減はないでしょうが、微増といったところではないかと思われれます。

以上乱筆乱文になってしまいましたが、会員諸先生におかれましては今年が平和で穏やかな躍進の年でありますように祈念しつつ、新年の挨拶とさせていただきます。

2011年

東京泌尿器科医会副会長

小川 肇

旧年中は東京泌尿器科医会に御厚情をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。昨年3月に当時の会長 長久保一朗先生が急逝されており、以上のご挨拶にさせていただきました。

毎年国民医療費の高騰が報道されています。日本の医療は平均寿命の高さ、乳児死亡率の低さ、がんの治療成績などを見ると世界トップレベルにあることは間違いのないところだと思われます。しかしその中身を見てみると、日本の医師数は人口1000人あたり2.1人で世界26位、さらに医療費のGDP比率は世界の21位です。日本の医療は少ない医師が少ない報酬で頑張っている結果だと見えてきます。幸い医師不足・偏在問題は医学部定員を7300人から8600人に増やしたこと、さらに地域枠ができたことにより解消に向かうことが期待されます。

日本の医療費は安い割りに、窓口での支払いだけが世界一高いと言われていています。これは日本の医療費の公的支出(つまり税金からの支出)が他国と比べ少ないことが大きな原因で、国民皆保険制度の下で、自己負担を上げることで医療制度を保ってきたわけです。今後も自己負担率の上昇が噂されていますが、世界に誇る皆保

険制度の崩壊につながるのではないかと心配です。年金や医療費は不公平感がなく、すべての国民が負担を分け合える制度への変換が必要に思われます。

昨年のご挨拶の中で、10年ぶりのネットプラス改定を歓迎するよう書きました。しかし、蓋を開けてみると、大病院での手術等が大きく増点され大病院では保険請求が大きく伸びているようですが、われわれ開業医にとっては相変わらずのマイナス改定でどうも騙された気分です。泌尿器科以外でもほとんど同様のようで、おからの受診抑制もあいまって保険請求は3~5%下がっているようです。そんな中で、泌尿器科にとっては迅速検査加算が倍になったのがせめてもの救いでした。これがなかったらと考えると恐ろしくなります。何も決められない政府、低い政権支持率、金と政治の問題、普天間問題、尖閣諸島問題など不安定要素の多い民主党政権下では、医療に対する関心は低く、来年の診療報酬改定も不安がつるばかりです。

長久保会長の急逝後、小川秀彌会長代行のもと会を運営してまいりましたが、平成23年は2年毎の当会の役員改選の年にあたります。本年4月からは、新会長の下、新役員を加えて活動するべく準備中で、2月19日の総会にて会員のみなさまのご了解を得たいと考えております。東京泌尿器科医会に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤 薬価基準収載

劇薬、処方せん医薬品(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

プロキシ® 静注 0.75mg

Aloxi® I.V. injection 0.75mg

パロノセトロン静注製剤

新発売

効能・効果、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量、用法・用量に関連する使用上の注意、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 **TAIHO** 大鵬薬品工業株式会社
 〒101-8444 東京都千代田区神田1-27
 TEL 03-20-4527 FAX 03-3283-2461
<http://www.taiho.co.jp/>

提携先 **HELSINN** スイス

本広告の象は、映画「星になった少年」(2005年公開)に出演したアジア象の「ランディ」です。なお、耳と牙は別のアフリカ象との合成です。

2010年10月作成

年頭のご挨拶

東京泌尿器科医会総務担当

森口 隆一郎

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は当会に激震が走りました。当医会発足時の発起人メンバーで当会会長の長久保先生を失ったことです。以後、故長久保会長の意向で小川秀彌副会長が会長代行に就任し、各理事の協力を得て、この1年間運営してきました。今後は吉田先生と小川肇先生に運営が引き継がれると思いますが、今後も皆様のご協力・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

2010年は国際情勢の変化、民主党マニフェストの不履行、政治の停滞、不況など経済状況の悪化が引き続いており、また2012年には団塊世代が年金負担世代より、年金受取世代に変わり社会保障費用の急激な増大が見込まれ、診療報酬の適切なる改定は考えられません。

経営環境の厳しさが一層進むものと考えられますが、会員一同一致団結して乗り越えていかなければなりません。当医会は泌尿器科医として専門知識と医療提供を第一に考えて、町田前会長の発案で16年前に発足しましたが、現在では最新の技量や医療制度、保険制度まで幅広く活動の輪を広げています。次期執行部にこの流れを受け継いでいただき、医会発展、会員増強などが図られる事を祈っております。

役員を退任するにあたり

東京泌尿器科医会保険担当

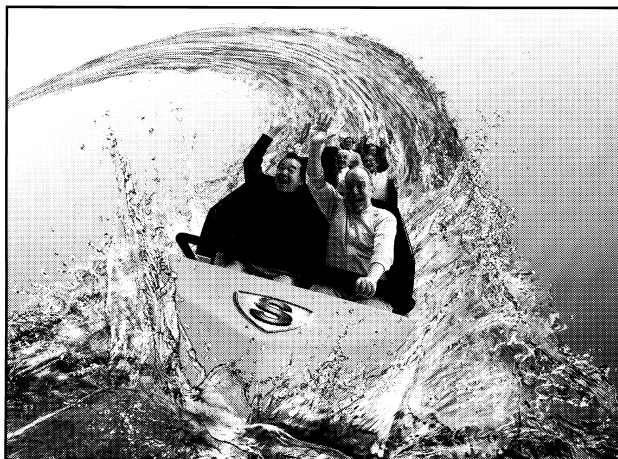
小路 良

平成7年4月、新宿「きくまさ」で開かれた東京泌尿器科医会発足の準備会に参加させていただいてから15年余り、医会の役員を経験させていただいたことにより様々なことを勉強させていただきました。


医会の発足にあたり、代表発起人の町田豊平先生が学会目的の一つとして示された「泌尿器科医療の啓蒙と社会的な向上」は、この間に相当な進歩を遂げたと思います。そもそも私などが医会の発足当初の発起人会に参加させていただいたのは、私が医師会よりの推薦で国保の泌尿器科専門審査委員をしていたことによるのですが、その頃の泌尿器科審査は広い審査会場の隅で、斉藤豊一先生と私と2名で細々としておりました。それが現在は専門委員は7名に増員され、また、新規に開設される泌尿器科専門医療機関が増加していることなどが泌尿器科医療の向上発展を如実にあらわしていると思われま

す。医会の活動がこの発展に寄与してきたことを役員として経験できたことは本当に有意義であったと思います。

組織の活性化には top down (leadership) と bottom up が必要です。今後は東京泌尿器科医会の一会員として bottom up に励み、会へ貢献させていただきたいと考えております。





選択的 α_{1A} 遮断薬
前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬 薬価基準収載
創薬/処方せん医薬品[®]

 **エリーフ錠 2mg・4mg**

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること 一般名: シロドシン (Silodosin)

■効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元  **キッセイ薬品工業株式会社**
松本市芳野1-9番48号
http://www.kissei.co.jp
〈資料請求先〉製品情報部
東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号

販売元  **第一三共株式会社**
(資料請求先)
東京都中央区日本橋本町3-5-1
http://www.daiichisankyo.co.jp/

2009年10月作成 (1101)

本間 之夫 著

図書紹介

すべてわかる!! 前立腺がん・肥大症

(毎日新聞社)

本間先生は、日本泌尿器科学会を牽引、指導し日本での泌尿器科学会を代表する先生です。国内外の論文の他に、患者さん向けの本も多数執筆しております。この著書も患者さん向けに執筆された本です。まえがきに前立腺肥大症や前立腺がんについていろいろな治療法から治療を選ぶのに、患者さんやそのご家族の悩みも深くなっております。患者さん向けの似た本はいくつもありますが、同じようなことが書かれていても、わたしの考えとは微妙に違っており、そんな点を埋めることも、この本を書く狙いのひとつでしたと述べております。

前半は、前立腺の解剖や生理的な意義を説明し、前立腺肥大症の症状、検査、薬物療法や手術療法について、患者さんにわかりやすく説明しております。

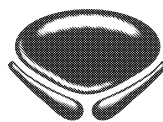
後半は、前立腺がんについて、がんとは何かを社会のがん、利権を求め過ぎると国家の崩壊につながるように、それと比較しながらがんの持つ自己増殖への「あくなき執着」という性質を一般社会現象と対比させながら解説しております。前立腺がんのステージ分類をTNM分類よりもステージA, B, C, Dに分けて、たとえばステージA1さんは、というように具体的な事例をあげて手術療法、内分泌治療、放射線療法や高密度超音波治療(HIFU)などの治療法について述べておりま

す。前立腺について勉強したい人、医師から病気を告げられて本を買う人、もうすでに診断もついて治療をしている人にもこの本を読むと自分の位置づけがよくわかり、患者さんが読むのに素晴らしい本です。

文章のところどころに本間先生の考えがコラムとして書かれております。病院を選ぶコツとか、病院とかけて白浜の砂と解く。その心は、「待つ(松)が付きもの」です。病院はとにかく待つところです。患者さんの最も多い不満がこのことで、日本の医療資源が貧困なのだと語り、全く共感を覚えます。

とても印象的だったのが前立腺がんの予防というコラムです。アメリカやヨーロッパに行かれた方はご存じでしょう、彼らがどんなものを食べているかを。脂っこいもの。肉類、乳製品、そしてとにかく食べる量が多い。そのような西洋式の食事が関係していそうです。また、西洋人は体が大きくごついです。男性はより男性らしく感じます。それに、性生活も盛んなようです。まったく個人的な意見ですが、東洋と西洋の違いは、食事やホルモンといったことではなく、精神文化の差ではないかと思っています。常に個人としての存在意義が問われ、自己主張を迫られ、心理的に強い生存競争にさらされているのが西洋の社会です。闘争的でないと生きられません。そのような環境にあると、体は生殖機能にも優遇をはかろうとし神経やホルモンを介して前立腺にがんを育てる土壌を整えてしまうのではないのでしょうか。そんなことを思っています。非常に哲学的で深みを感じさせてくれる文章です。泌尿器科医もかかりつけ医にも是非、読んでほしい本です。

(文責 仲田浄治郎)

過活動膀胱治療剤(コハク酸ソリフェナシン錠) [薬価基準収載]

ベシケア[®]錠 2.5mg / 5mg

処方せん医薬品
(注意—医師等の処方せんにより使用すること)
Vesicare[®]

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 アステラス製薬株式会社
東京都板橋区蓮根3-17-1

【資料請求先】本社/東京都中央区日本橋本町2-3-11

Office Urology その8

仲田クリニック 仲田浄治郎

日本泌尿器科学会雑誌 Vol.101 Supplement 教育ワークショップ2010に医師の年齢別活動状況について書かれております。

医療施設の従事者は55歳以降に急減し、85歳以上で働いている医師は極めてまれ。

40歳台に比べて60歳で半減、65歳で1/3、75歳で1/4、医師の活動能力は60歳を超えると急速に低下。

医療機関の勤務者のうち非教員は40歳台になると急減。教員はその後緩やかに減少し、70歳までに退職。

診療所の従事者は50歳台でピークとなり、65歳までに半減。その後は80歳まで働くが、85歳以上は極めてまれ。

また現在働いている医師の主体は30から59歳で10年後には60台の医師が急増し、医師の高齢化が始まる。そして機能医師数の推測では年齢別活動係数を設定し25～30歳 0.8、31～50歳 1.0、51～55歳 0.7、56～60歳 0.5、61～80歳 0.3、80歳以上は0と推測しております(表1)。

何故このようなことを冒頭に書いているのかといいますと、攻める人生とは別に逆算の発想が必要で70歳位までが医師としての活動でそれ以上は体力、知力に恵まれているかによると思います。70歳をめどに逆算していきますと5～7年が老後の準備の貯蓄。開業する時の医療器械、内装工事などの開業資金に約4000万円かかり返済に7～10年かかるといわれてい

ます。もしも開業する場合は、老後の生活費や借金の返済を考えますと新規開業は、55～57歳位が限界のようです。

日本臨床泌尿器科医会は、2008年11月より2009年2月まで全会員を対象にオフィスウロロジー

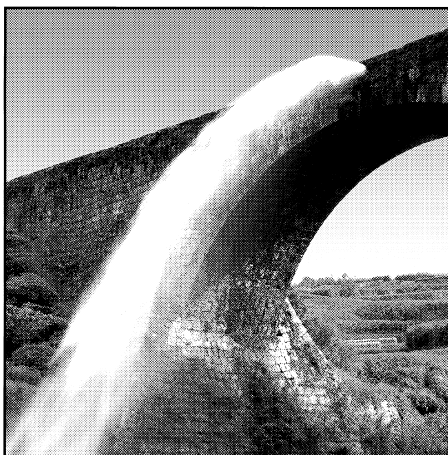
に関するアンケート調査を行いました。開業時の年齢は336名をみますと、35～39歳をピークに年齢と伴に低下し、55歳以上で開業したのは約10%と少なくなるのは頷けます。

勤務医の場合は、部長定年で60～65歳だと思えます。その後、開業して立派に活動している先生もおります。その場合は、よほど勤務医の時に実力のある有名な先生かあるいは勤務していた病院の近くで開業し、患者さんについてきてもらうことです。患者さんも安心しますし、自分の退職金も使いはたすことはないかもしれません。泌尿器科は外科系であり勤務医として定年を迎える場合もこれからは多くなると思います。その後は週に何日かの嘱託医になり体力と伴にその診療日数を減らしていくほうが、自分が医師活動をやめる時も患者さんへの申し送りが楽な場合もあると思います。

今回は、日医ニュース平成21年10月(第1155号)での開業動機と開業医の実情アンケートを中心に泌尿器科医の立場を含めて検討したいと思います。

表1 年齢別活動係数

年齢	活動係数
25～30歳	0.8
31～50歳	1.0
51～55歳	0.7
56～60歳	0.5
61～80歳	0.3
80歳以上	0



前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤 薬価基準収載



フリバス錠 25mg・50mg・75mg
フリバスOD錠 25mg・50mg・75mg

Flivas®Tablets (ナフトビシル錠) Flivas®OD Tablets (ナフトビシル口腔内崩壊錠)
処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元
旭化成ファーマ株式会社
資料請求先：医薬学術部
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
URL <http://www.asahikasei-pharma.co.jp>

東京都各科医会協議会報告

東京泌尿器科医会会長代行 小川 秀 彌

1. 平成22年度忘年懇親会(通算20回)が例年通り開催されました。

日時:平成22年12月6日(月)

午後7時30分から

会場:南国酒家・迎賓館

泌尿器科医会からの出席者は4名でした。

式次第は

会長挨拶:東京産婦人科医会

落合一彦会長

内容の要旨は「第28回日本医学会総会

2011年4月2日~10日の博覧会に東京都

各科医会協議会による都民の健康相談コーナー(企画案)として参加する。」でした。

来賓挨拶:東京都医師会

鈴木聰男会長

同上落合会長への御礼と次期東京都医師会会長選挙に立候補するので、宜しくお願い致しますなどでした。

例年行われている各医会会長挨拶は省略。

2. 前回、医会ニュース No.39で述べました会員増強対策として、東京都医師会 鈴木聰男会長に医師会会員に対して呼びかけをお願いする件については下記の文書を提出する予定です。

記

東京都各医師会泌尿器科標榜会員 殿

東京泌尿器科医会会長代行 小川 秀 彌

東京泌尿器科医会ご入会のお薦め

時下益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

本医会は、初代会長 町田豊平先生を中心に設立。

発会は、1995年(平成7年)9月9日に開催されました第1回東京泌尿器科医会総会でありま

す。以下に本医会のメリットを中心にその概要を箇条書きで記述させていただきます。

1. 会 員 数 : 210名(2010年12月20日現在)

2. 会 費 : 年5,000円 入会費なし

入会の次年度から支払開始

3. 総 会 : 年1回 2月開催が多い。同時に学術集会開催。

4. 学術集会 : 年2回 2月と9月開催が多い。会費1,000円

出席者に日本泌尿器科学会専門医3単位証明書配布

同上 日本医師会生涯教育制度参加証、取得単位配布

講演、特別講演に続き保険診療に関するQ&A

情報交換会は無料

5. 医会ニュース

: 年3回発行致しております。

主な記事は、直近に開催された学術集会の講演内容の要旨、特に泌尿器科

医会ならではと思われる記事は保険診療のQ&Aの全文と診療報酬改定時の改定の要点についての解説です。

次に全ての号に記載されているものとしては東京都各科医会協議会報告です。東京都には11科の医会がありますが、まず放射線科が休会、その後泌尿器科が入会、2010年10月臨床外科医会が休会となり、現在9科により構成されております。内容は各科個別の情報・意見の交換、全科共通の事業などについての協議等々です。

また、新規開業医紹介、Office Urology、発行時にタイムリーな記事、会員・役員からの投稿、種々の報告、各年度の事業報告、次年度の事業計画など盛り沢山です。

6. 泌尿器科医会MAP

： 目的は診診・病診連携の強化および都民・国民の方々の泌尿器科専門医検索の一助となる事です。

このMAP作成には約1年の歳月を要し、現在ホームページ(HP)に入力中ですが、MAP作成に際して29名の先生にご入会いただきました事は極めて有難く深謝致しております。

以上東京泌尿器科医会の現状ですが、本医会は大学病院、総合病院、一般病院、医院、診療所など施設の枠を越えて実地臨床泌尿器科医、諸先生のご入会を大いに歓迎いたしております。

敬白

お知らせ

東京泌尿器科医会のホームページが新しくなりました(<http://www.urology-tokyo.jp>)

泌尿器科医会マップをご確認のうえ、各施設のホームページアドレスの掲載など、ご要望がございましたら、自由企画・出版(FAX:042 325 8950 TEL:042 325 8931)にFAXにてご連絡お願いいたします。

編集後記

昨年とは異常気象、政治不信と日本の情勢はガタガタでした。東京泌尿器科医会にとっても創立以来、前代未聞の会長不在となった大変な年でした。

今年は役員改選の年で、新たな一歩を踏みだします。東京泌尿器科医会は心機一転し、役員ともども益々頑張っていきますので、今後とも皆様の御支援をよろしくお願い致します。(T. A.)

賛助会員

旭化成ファーマ株式会社 / あすか製薬株式会社 / アステラス製薬株式会社 / アストラゼネカ株式会社 / エーザイ株式会社 / 大塚製薬株式会社 / 小野薬品工業株式会社 / 科研製薬株式会社 / キッセイ薬品工業株式会社 / 杏林製薬株式会社 / グラクソ・スミスクライン株式会社 / シェリング・プラウ株式会社 / 塩野義製薬株式会社 / 大鵬薬品工業株式会社 / 武田薬品工業株式会社 / 第一三共株式会社 / 中外製薬株式会社 / 株式会社ツムラ / 帝人ファーマ株式会社 / 日本新薬株式会社 / 日本化薬株式会社 / ファイザー株式会社 / 扶桑薬品工業株式会社 (50音順)